

三重ブランド

ひのき

●取材先

速水林業 速水亨さま
北牟婁郡紀北町

●食材説明文（約140文字）

大木が立ちならぶ尾鷲ヒノキの森。木漏れ日の下には広葉樹がしげり、シダが一面に広がる。多様な生物が織りなす、豊かな森の姿があった。

「山はキャンバスみたいなもの。絵描きと同じ。」

百年先をイメージする林業家と、自然との調和によって描かれる森。その作品のひとかけらが、美しく強い尾鷲ヒノキとなって届けられる。

●現地風景コメント（約30文字）

1



樹齢100年、尾鷲ヒノキの森。
まっすぐに伸びた太い幹が立ちならぶ。

2



尾鷲の土地と気候が、高品質なヒノキ材を育んできた。

3



痩せ地でゆっくりと育った尾鷲ヒノキは、年輪がち密で強度も高い。

4



枝打ちや間伐を適切におこなうことで、
節のない大径の木材が生まれる。

5



間伐がゆきとどいた森は、人工林とは思えない明るさ。

6



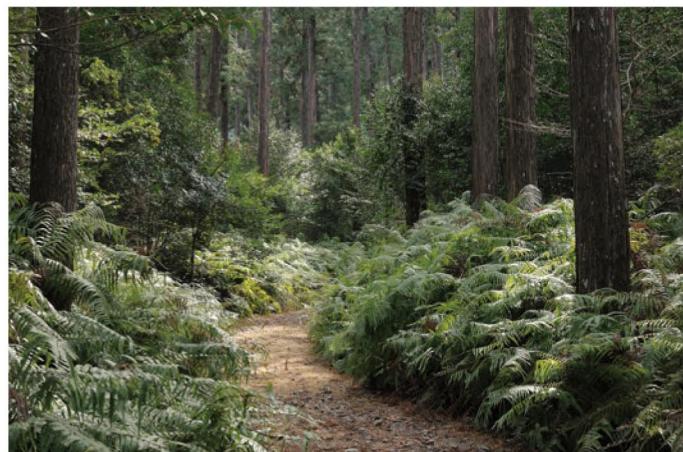
木々の下には日が差し込み、大きなシダが海のように広がっている。

7



生き物としての木を知り、想う。
100 年先をイメージして、森がつく
られる。

8



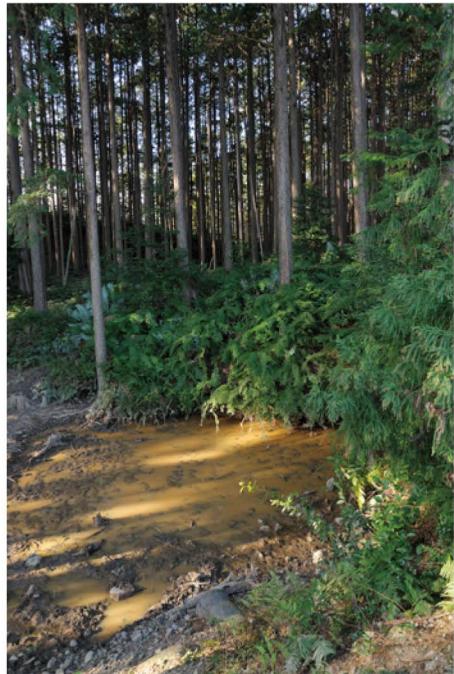
ヒノキの間を埋める広葉樹、シダ…多様な植物からなる重層的な森の姿。

9



数えきれない植物が、土を豊かにし、一本一本のヒノキの成長をささえている。

10



イノシシが泥浴びをするスタ場。
豊かな森には動物も多い。

11



大木から若木や下草まで、森全体が循環している。

12



「山はキャンバス」
尾鷲の人と自然が、長い年月をかけ森という作品を描いていく。

13



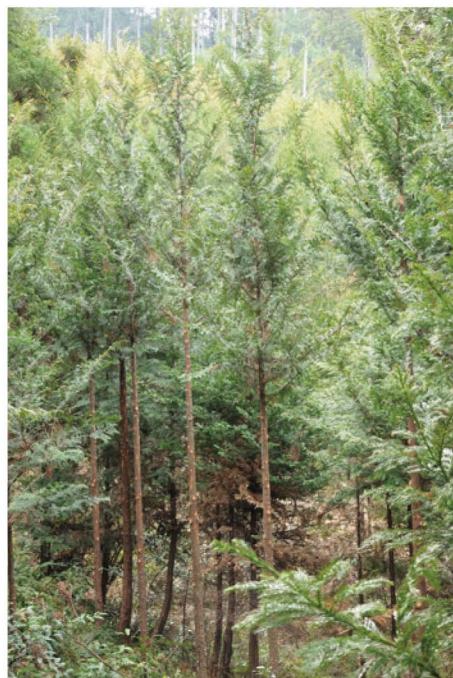
苗木の品種や植えつけにも新しい試みを取り入れている。

14



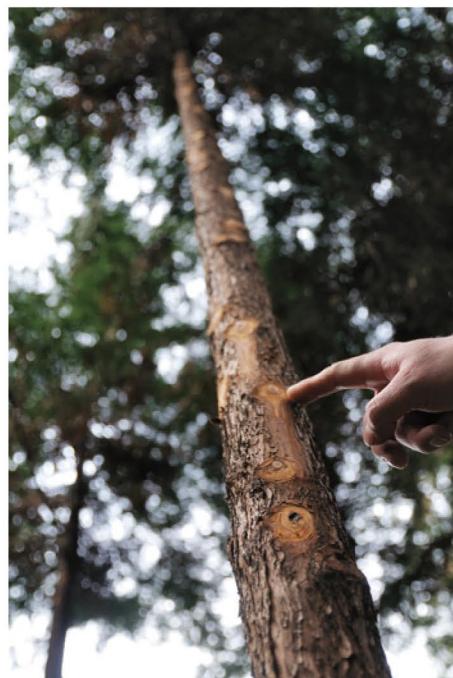
結果が出るのは数十年先。
林業ならではの面白みもある。

15



植林されて 10 年目のヒノキ林。
密植状態から間伐を経て、最終的には 1 割以下の本数になる。

16



美しい木材の決め手となる枝打ち。
その時期や量の見極めが肝心。

17



ヒノキの伐採作業には、職人の技が生きている。

18



19



幹の反り、地形、風向きを計算し、安全を確認しながら的確にチェーンソーが入れられる。

20



伐採されずに残された優秀なヒノキ。
さらに年数を重ねることで、良質な大径木となる。

21



林業機械の導入にいちはやく取り組んだことで、効率的な伐採・搬出作業が可能になった。

22



林道網の整備も作業の効率化に大きく寄与した。

23



90年生のヒノキ材。
強さと美しさを兼ね備えた尾鷲ヒノキは、高い評価を受けている。

24



中心部から均等な年輪幅で育った丸太。
適切な森林管理がなされていることを示す FSC 認証のスタンプが押される。